

気候サービスのための世界的枠組みに関するハイレベルタスクフォース ～ JAXA 向井千秋氏が選出されました ～

1. 概 要

第 3 回世界気候会議*において、「気候サービスのための世界的枠組み」（以下、「枠組み」という）の構築とその検討のためのハイレベルタスクフォース（以下、「タスクフォース」という）の設置が決定されました。これを受けて、「タスクフォース」の構成員及び委任事項を決定するために開催された政府間会合（平成 22 年 1 月 11 日～12 日、スイス・ジュネーブ）において、「タスクフォース」のメンバーとして宇宙航空研究開発機構（JAXA）の向井千秋氏が選ばれました（メンバー一覧：別紙）。

* 第 3 回世界気候会議：平成 21 年 8 月 31 日～9 月 4 日にスイス・ジュネーブで開催。各国首脳級、大臣級を含め約 2,000 名が出席。

2. 気候サービスのための世界的枠組みに関するハイレベルタスクフォース

この「枠組み」は、気候予測の精度を高めるとともに、水資源管理や農業等の気候情報の利用者が使いやすい形で提供するための新しい取り組みです。「タスクフォース」は、元大統領等をはじめとする世界レベルの有識者から選任された 16 名で構成され、「枠組み」の具体的なあり方を検討します。その結果は報告書としてまとめられ、次回世界気象機関（WMO）世界気象会議*において、報告書に基づき、「枠組み」の構成と実施計画が採択される予定です。

* WMO 世界気象会議：WMO の全構成員（世界 189 の国と地域）の参加により 4 年ごとに開催される WMO の総会。来年（平成 23 年）に次回会議が開催される予定。

3. 気象庁の今後の取り組み

気象庁は、関係省庁を含む利用機関と連携・協力しつつ、当庁が運営する WMO 地域気候センターの活動等を通じて、この「枠組み」に関する検討やその実施に積極的に協力していきます。

問い合わせ先： 03-3212-8341（気象庁代表）
総務部企画課国際室（内線 2267）
地球環境・海洋部気候情報課（内線 3152）